愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2023年度	開講期(Semester)	前期
授業科目名(Course name)	基礎演習Ⅰ		
担当者(Instructors)	中野 匡隆	配当年次(Dividend year)	1
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

基礎演習Iでは、大学で学ぶということを理解した上で、4年間の充実した大学生活を送るために必要なスタディスキルの基本を身につける。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	演習形式で行う。授業の内容に応じて、ディスカッション、プレゼンテーション、グループワークを取り入れる。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	ガイダンスとスタディスキル「コミュニケーションスキル」	授業の到達目標、進め方、注意点等を説明する。「大学生活や講義で必要なコミュニケーションスキルとは何か？」を理解する。	□
第2回	スタディスキル「メディアリテラシー」	大学生活や講義で必要な「メディアリテラシー」をを理解する。	□
第3回	スタディスキル「アカデミックリーディング」と「アカデミックライティング」（１）	大学生活や講義で必要な「アカデミックリーディング」と「アカデミックライティング」（１）を理解し、反復練習する。	□
第4回	スタディスキル「アカデミックリーディング」と「アカデミックライティング」（２）	大学生活や講義で必要な「アカデミックリーディング」と「アカデミックライティング」（２）を理解し、反復練習する。	□
第5回	スタディスキル「アカデミックリーディング」と「アカデミックライティング」（３）	大学生活や講義で必要な「アカデミックリーディング」と「アカデミックライティング」（３）を理解し、反復練習する。	□
第6回	スタディスキル「アカデミックリーディング」と「アカデミックライティング」（４）	大学生活や講義で必要な「アカデミックリーディング」と「アカデミックライティング」（４）を理解し、反復練習する。	□
第7回	スタディスキル「先行研究や参考文献の引用」と「文献検索」(1)	大学生活や講義で必要な「先行研究や参考文献の引用」と「文献検索」（１）を理解し、反復練習する。	□
第8回	スタディスキル「先行研究や参考文献の引用」と「文献検索」（２）	大学生活や講義で必要な「先行研究や参考文献の引用」と「文献検索」（２）を理解し、反復練習する。	□
第9回	スタディスキル「要約」（１）	大学生活や講義で必要な「要約」を理解し、反復練習する。	□
第10回	スタディスキル「要約」（２）	大学生活や講義で必要な「要約」を理解し、反復練習する。	□
第11回	スタディスキル「要約」（３）	大学生活や講義で必要な「要約」を理解し、反復練習する。	□
第12回	スタディスキル「レポート（調査報告型）」の作成（１）	大学生活や講義で必要な「レポート（調査報告型）」の作成における「準備、計画、構想、構成」を理解する。	□
第13回	スタディスキル「レポート（調査報告型）」の作成（２）	大学生活や講義で必要な「レポート（調査報告型）」の作成を実践する。	□
第14回	スタディスキル「レポート（調査報告型）」の評価と修正	大学生活や講義で必要な「レポート（調査報告型）」の評価について理解し、修正をする。	□
第15回	授業内試験とフィードバック	スタディスキルに関する授業内試験を実施し、フィードバックする。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

毎回の授業で与えられたテーマについての早期準備に取り組む(2時間)。 提出期限までに課題を提出するために事前事後学習を行う（2時間）。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回の授業にて前回提出された課題（要約、レポート等）についての復習を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◇ 2019全学共通DP1	大学における学びの基礎として、講義の受け方、聴き方、話し方、情報の集め方、レポートの書き方について習得し、活用することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019全学共通DP2	大学における学びの基礎として、メディアリテラシー、レポートの書き方、プレゼンテーション、ディスカッションの企画と役割の遂行を通して、自らの考えを発信することができる。
主体性	◆ 2019全学共通DP3	多様な人々（メンバーや教員）とコミュニケーションを図り、主体的な関わりを通し、自己理解し、他者と協働し、問題解決に向かうように行動する。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
		0%	20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

各回のスタディスキルに関する課題80%、スタディスキルに関する授業内試験20%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	世界思想社編集部（2021）「大学生　学びのハンドブック　５訂版」世界思想社	9784790717072
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	長尾佳代子、村上昌孝（2015）「大学1年生のための日本語技法」 ナカニシヤ出版	9784779509025
2	鎌田美千子、仁科浩美（2014）「アカデミック・ライティングのためのパラフレーズ演習」スリーエーネットワーク	9784883196814
3	宇野聖子、藤浦五月著（2016）「あしか ： 大学生のための表現力トレーニング ： アイデアをもって社会について考える」ココ出版	9784904595831
4		
5		